



いざというときに役立つ三角巾を使っの応急手当訓練

不意の災害も備えがあれば…… 橘地区で総合防災訓練を実施

総合防災訓練が九月三日、橘中学校グラウンドで行われ、橘地区の自治会のみなさんや防災関係機関の職員など約千九百人が参加しました。

訓練が職員の手導のもと次々と手際よく行われました。また、今回は今年四月に発足した消防本部の専任救助隊が出勤し、参加者が見守る中、鮮やかな救出活動を披露しました。

この日の訓練で学んだことは、災害時には必ず役に立つことでしょう。

石垣山 一夜城は本格的なお城

発掘調査で構造明らかに

豊臣秀吉が、天正十八年(一五九〇年)に小田原攻めのために築いた早川の石垣山一夜城は、急がしらの一時的な山城でなく、関東で最初の総石垣造りてから屋根の本格的な城郭であることが、教育委員会の調査で明らかになりました。



かわらが出てきた石垣山一夜城東口外門の槽台跡

▲本丸建物の礎石と敷石

小田原地方児童生徒 創意くふう展

★とき 10月6日(金)～8日(日)
午前9時～午後5時
★ところ 市民会館1階ロビー
2階展示室

主催：小田原市ほか西湘地区1市8町・小田原市教育委員会・南足柄市教育委員会・足柄上郡町村教育委員会協議会・足柄下郡町教育委員会協議会

小田原市児童生徒
科学展覧会

◆とき 10月5日(木)～8日(日)
午前9時～午後5時

◆ところ 市民会館3階小ホール
市教育委員会
市小学校校長会・市中学校教育研究会



小田原城天守閣では、小田原城薪能にちなんで秋の特別展「能面展」を開催します。

◆会期 10月2日(月)～11月19日(日)
◆会場 小田原城天守閣中4階

◆入場時間 午前9時～午後4時30分
◆展示内容 能面約30点
◆入場料 天守閣入場料として大人250円、子ども100円
◆後援 小田原謡曲連合会
◆問い合わせ 小田原城天守閣 ☎23-1373

能面展

10月2日
11月19日

小田原城天守閣秋の特別展

と市長話し合う会

協働のまちづくり のために、これから

六月五日に中央公民館で、「地域を考える懇話会」のみなさんと「協働のまちづくりのために、これから」というテーマで「市長と話し合う会」が行われました。ここでは、その概要をお知らせします。

市長 お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。みなさんには市職員と市民の共同研修に参加していただき、その後「地域を考える懇話会」のメンバーとして、小田原の地域別の将来イメージをまとめる「地域プラン」策定にご助力いただきましてありがとうございます。

みなさんのお知恵をお借り

市全体のまちづくりは

道路網の整備から

笠原 これからの開発は、道路に主体を置くことが必要です。街中の道路を整備して、交通渋滞を解消し発展を図るとともに、郊外の道路も整備して、もう一つまちをつくる

市長 道路問題はそれとおりだと思えます。市内の交通網の整備として

中央地域の再開発

城跡の整備など

市街地の再開発 三の丸跡地も

鈴木 旧市内の再開発ですが、工芸指導所の敷地を譲り受け、図書館分館のような公共施設をつくり、城址公園の周りを整備すれば、現在はお堀端通りの途中で戻ってしまっている人の流れをもう少し



しまして「わたしたちのふるさと」という地域プランをつくることができました。これからはみなさんのご意見をお伺いして、市民と行政が協働の精神でまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、遠慮なくご意見を述べていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

は、幹線として栄町小八幡線の土地買収をすつと続けています。県が酒匂川に架ける橋の計画も、早ければ来年度に動き始め平成五年度には完成する予定です。

南と北の通過交通については、南北道路と環状道路を整備し、西湘バイパスを石橋ま

で延伸させ、用のない車を市内に入れさせないようにします。環状道路は国府津の親木橋から穴部、久野を通って風祭に抜ける計画道路で、南北道路は酒匂川に沿った計画道路です。西湘バイパスの工事は今年着工し、平成六年に完成を予定しています。

自然の生態系を 考えた開発を

乾 旧市内の再開発にしても、郊外の開発にしても、開発が進むと全部コンクリートになり地面がなくなります。水は地下に浸透しにくくなり、

川嶋 片浦地区に住む者としては、自然を大切にしたい

強い雨が降ったときは排水しきれないというような問題が出てきます。水を地下に浸透させる考えを生かしたまちづくりを、考えるべきではない

緑のある良好な 住環境の整備を

笠原 小さい開発を連続して行い結果的に大きな開発にしてしまい、乱開発に近い方法がとられる場合があります。ですから、小さな開発でも連続する場合には、ある程度厳しい規制をつくる必要があるのではないのでしょうか。

市長 本市の開発規制は、全般的にいうと厳しい方だと思えます。土地の所有者の権利を守りながら、まちづくりの考え方に沿って、今後も開発指導、建築指導を行って

きたいと思えます。鈴木 高層の貸事務所がありますが、用途をマンションなどに変更しようとする場合、地域が建設会社とオーナー側から違約金をとる契約を結んでいますが、

市長 住む環境を良くしていくために自治会が協定を結ぶのは良いことだと思います。地区計画という取り組みが、地域の人が良い環境を守るために建築基準の高き制限よりもっと低く制限したり、必ず木を植えようといった内容の協定を、地域の人の九割ぐらいの賛成で決めることができ

地区計画制度も 活用しよう

また、ここに個人の健康データなどを整え、地域での健康相談などに活用できようにして、そこに行けば健康のことがいつでも何でもわかるようにしたらどうでしょうか。

市長 保健センターは完成して日が浅い施設です。運営面も施行錯誤している状態です。意見があればどしどし言ってもらいたいと思えます。可能なものから取り入れていきたいと考えています。

また保健センターのあり方について検討する懇話会のようなものをつくる必要があると考えています。

強い雨が降ったときは排水しきれないというような問題が出てきます。水を地下に浸透させる考えを生かしたまちづくりを、考えるべきではない

旧国鉄用地を まちづくりに

大曾根 郊外などで大きい建物ができる場合、公共スペース

意味での開発をお願いしたいと思えます。

市長 片浦地区の開発は、みかん減反の問題もあり十分考えています。市内で最も緑が残っている地区ですから、これをうまく使って、県の規制の範囲内で、研修施設などの設置が可能かどうか考えています。また、源頼朝の旗上



片浦地区の開発 自然を生かして

川嶋 片浦地区に住む者としては、自然を大切にしたい

でしようか。

市長 そのような考えは、長い目で見ると、非常に重要だと思えます。開発が進むと雨水が山で受け止められず、水がどつと出る場合がありますので、それと共通する問題なのかも知れません。まちづくりは、水の問題を十分に考えて進める必要があります。



緊急対策
9月21日(土)10月31日
神奈川県は、2年連続で交通事故の多発ワーストワンを記録したため、従来の全県下一斉の緊急対策を止め、指定地域ごとに緊急対策を実施することになりました。

秋の交通安全運動
9月21日(土)30日
秋の行楽シーズンを迎えますが、「交通安全は、思いやりとゆずりあい」をスローガンに交通事故ゼロを目指しましょう。

◆交通安全キャンペーン
日時 9月21日(土)午前7時45分～8時45分
午後1時～

○場所 小田原駅東口
○内容 動物のぬいぐるみがチャリン等を配布

◆問い合わせ 市民生活課 ☎331396

**生け垣を増やして
緑化の推進を**

笠原 住宅については、ブロック塀が多いが、西相模地震の話もあるので、市が助成するなどして生け垣を奨励したらいかがでしょうか。

市長 ふるさとみどり基金も活用して、費用の半分ぐらいの補助をして生け垣を奨励したいと考えています。他市で実施している例を見ると、応募がさっぱりないといえます。後の管理に手がかるので、遠ざけたいのです。そこで、生け垣の手入れの講習などの後の管理できるアフターケアの仕組みをつくることを研究しています。

**用途地域が
変更されました**

本紙5月15日号でお知らせしました用途地域の変更については、平成元年8月29日付け神奈川県告示第748号で変更案のとおり決定しました。また、防火地域及び準防火地域の変更については、平成元年8月29日付け小田原市告示第45号で変更案のとおり決定しました。

なお、関係図書を都市計画課で縦覧しています。

◆問い合わせ
都市計画課 ☎331571

**社会人講座で
豊かな人生を**

中央公民館では、これから高齢化社会を豊かに生き、支え合っていくために必要な手段や方法を学んでいただくため、11月に社会人講座を開設しますので、奮ってご参加ください。

◆対象 市内に在住、在勤している55歳以下の勤労者
◆定員 男女各15人(先着順)

◆受講料 無料
◆日程 講座内容・会場
○11月11日(土)12日(日) 尊徳記念館で宿泊研修「ライフワークの発見・調理実習・老人病の知識と理解ほか」
○18日(土)「定年を迎えるため

交通安全をなくそう

小田原市は、今年度後期の地域指定を受け、「交通事故多発!交通安全は一人ひとりの心がけ」をスローガンに地域に密着した交通安全の諸施策を展開します。職場、学校、家庭等で、みなさんの課題として交通安全防止に取り組み、交通安全の意識を定着させていただくようお願いいたします。



らせ・おしらせ

◆受講料 無料
◆日程 講座内容・会場
○11月11日(土)12日(日) 尊徳記念館で宿泊研修「ライフワークの発見・調理実習・老人病の知識と理解ほか」
○18日(土)「定年を迎えるため

思緒等の巡回

市長 三の丸跡地は一万坪以上ありますので、そこに市民施設をほりつけていきたいと考えています。そのために、工業指導所だけでなく消防署などほかの役所の移転も考えていますが、移転先の確保や遺跡の調査も必要になります。今年、県と共同で調査することになっていますが、具体的に動き出すにはもう少し時間がかかると思います。

関東学院大学は平成3年に開校

金澤 大学は本当にできるのでしょうか。
市長 関東学院大学がキャンパスをつくりまします。既に文部省に申請を出しており、順調にいけば今年の秋に許可がおり、年内着工、平成三年四月には開校する予定です。
金澤 どの辺に何の学部ができるのですか。
市長 位置的には萩窪で、小田原駅から歩いて十五分の

て公園や遊歩道を整備して、地域の人だけでなく遠くからも人が集まって来るような海岸にしてほしい。そうすれば、来た人に海岸の現状を理解してもらえらると思います。
市長 海岸は県の管轄なので、21世紀プランではあまりとりあげていません。県に動いてもらうように働きかけています。

市としては海岸を二つに分けて考えています。
一つは国府津から荒久までの砂浜ですが、この海岸線については、まず砂浜を昔のよりに回復させることを考えていく必要があります。しかし、これは相当時間がかかると思います。また、この海岸に近い地域は昔のままで、人口が減り高齢化も進んでいますので、再開発して良好な住宅環境を整備されれば、若い人も戻って来ると思います。

まちづくりはみんなで進めよう

市長 まちづくりを進めていく上で非常に大切なことは、行政が住民の意識を反映させることです。今までのまちづくりは、率直に言うところ行政主導型・市役所主導型でしたが、これは本当のまちづくりの姿ではありません。理想的なまちづくりは、地域の人たち自身が地域をどのようにしたいのかを問題として提起し、考えることから始まります。地域住民が行政をうまく巻き込む形で進めるべきだと考えています。

上田 そのための前提として大切なことは、住民自身が何を考え、何を希望しているのかについて共通認識を持つことだと思えます。
市長 地域の住民の方が同じ理解度を持って、まちづくりを進めていくことは大切で、す。しかし、そのために行政

で啓発活動を行うと、住民は身構えてしまいますので、是非みなさんのお力でやっていただきたいと思えます。
大曾根 二十一世紀になったときにも、その地域に住み続けていると思われの人たちがまちづくりのことを話し合う会をつくっていかねければと、思っています。
市長 核になる人をつくって、輪を広げていこうと思っています。今後、地域別の懇話会では、いろいろな年齢層の人に参加していただくことを考えていきたいと思います。
上田 住民が主体となるた

めには、地域を考える組織をつくることから始めて、ほかの地域と交流し、私たちにできるものは何かという課題・テーマづくりをしていかなければならないと思えます。
市長 そして、どしどし意見を申し出てもらい、行政で生

かし、またそれを地元に戻していく。これを何回もやって、まちづくりについて一つのまとまった考え方を生み出していきたいと考えています。みなさんにも積極的に参加していただきたいと思えます。

出席されたみなさん
津 上田綾子(酒匂) 大曾根京子(橋南) 鈴木守(万年) 金澤恵美子(東富水) 勝股町子(富水) 鈴木三子(久野) 乾宗俊(大津) 青木敏子(早川) 川島紀子(片浦) 石井順子(山王) 網一色

連載随筆

小田原合戦

岩崎宗純

(市史編さん専門委員)

《第6回》

早雲寺炎上
天正十八年四月一日、箱根山に入った秀吉は、同月六日、北条早雲の菩提所湯本早雲寺に本陣を置いた。

二の死である。四月十一日、宗二は秀吉によって四十六才の波瀾に富んだ生涯を抹殺された。

いま一つの悲劇が小田原城内でも起こった。早雲寺住持明叟宗普の死である。天正年代早雲寺禅林に重きをなしていた明叟は、早雲寺二世大室宗碩の弟子で、永禄十一年(一五六八年)六月二十四日、早雲寺四世南宗宗菊が没する

と、早雲寺五世住持となった。千利休・津田宗久などが親しく出入りする寺でもあった。明叟はこの寺の四世住持に請

じられたのである。明叟が南宗寺に在任中の時期は、秀吉による天下統一の

動きが急速に高まりつつある時であった。堺にあって明叟は、激しい勢いで展開していく時の流れ、天下人秀吉の実力を充分に見聞したに違いない。

堺から小田原へ帰った明叟は、氏政・氏直(秀吉との和平を説き「城の危なきこと累卵の如し、公、若し能く心を改め、逆を捨て順を取らば、坐して相豆の封を受けん」(広徳寺誌)と諫めたという。しかし明叟の諫言は容れられず、秀吉はついに小田原攻めを開始した。兵火を避け、弟子たちと小田原城に入った明叟は、形勢が悪化するなかで北条軍が動揺する様子を見て「大檀那の滅却を睥睨してにげ、移去も由なし」と歎息せられけるが、竟に飲水を留め断食して四月十五日遷化したという(関八州古戦録)。この時、大衆に示した遺偈が残されている。

北方の領土かえる日 平和の日

仏祖を踏殺し 一生風顛
末後杖を振り 梵天へ踏出す
天正十八庚寅
四月一又五 宗普(花押)
喝 大衆珍重
喝 (広徳寺文書)

秀吉軍は早雲寺を引き上げるとき、火を放つたらしい。偉容を誇った七堂伽藍・諸塔頭は灰燼に帰した。五百余人を超えたといわれる一山の僧徒も「打死、或ハ分散仕候」(早雲寺古記録)と伝えられている。

「北条五代記」は、このような早雲寺の様子を、「如此の靈寺たりと雖も、末代に至りて破却しなきが如し。此は昔話となり。今は早雲の寺号ばかりぞ残りける」と記している。

早雲寺が北条氏の菩提所として再建されるのは、江戸時代寛永四年(一六二七年)になってからである。

植松 郊外にあたる周辺地域は、これから開発が進み人口が増えてきますので、支所を含めたセンターのようなものが必要ではないでしょうか。
市長 現在、地域センターを建てる計画を検討しています。



緑を生かしたまちづくり

また、これに関連して、小田原市は今年の五月に建設省から景観モデル都市に指定されました。全国で十四都市が指定されましたが、関東地方では小田原だけです。この指定をまちづくりに有効に使っていきたいと思えます。現在、建物に使う色や看板を制限し

の講習を開いて、認識が低く、講習に出る人が少ない。まちをつくるにも緑を守るに、まず住民意識を高めていくことが大事だと思えます。
市長 おっしゃるとおりです。絶えず住民の意識を高める活動をしていかなければならないと思えます。

感謝等の巡回相談を開催
◆定員 各日50人
◆受講料 無料
◆申込方法 各講座の前日までに社会教育課成人教育係(☎1711)へ電話又は直接申込みを。定員になり次第締め切ります。
飼い猫にはマナーと愛情を
猫は家族の仲間です。猫を飼うときは近所に迷惑を掛けないように、愛情をもって飼いましょ。
最近、猫がゴミを散らかしたり、花壇を壊したりなどの苦情が増えています。餌を十分に与えたり、清潔に保つなどマナーをもってかわいがりましょ。
また、安易に猫を捨てる人がいますが、それはみんなに迷惑を掛けることになり、飼えなくなったら、保健所または市内の定点引取場所に持ってきてください。
◆問い合わせ 生活環境課 ☎1486

女性セミナーに参加しよう
教育委員会では、女性セミナー公開講座を開催します。奮ってご参加ください。
①男女共同社会をめざして
○日時 10月13日(金) 午後1時30分～3時30分
○講師 雑誌「ワイフ」編集長 田中喜美子さん
②女性の病気とその予防
○日時 11月2日(木) 午後1時30分～3時30分
○講師 市立病院院長補佐 佐藤啓治さん

古文書講座で市史を読もう
『小田原市史』は、今年3月「史料編近世II藩領1」から刊行作業を開始しました。文化室では、みなさんに郷土の歴史に親しんでいただくために、このほか雑誌「おだわら」歴史と文化の発行や歴史講演会、古文書講座を開催しています。
今回、3回目を迎えた古文書講座は「小田原市史を読む会」として、小田原市史を詳しく読んでいただきます。
◆定員 50人(先着順)
◆受講料 無料
◆申込み及び問い合わせ 9月30日までに文化室市史編さん係(☎250)小田原市萩窪300 ☎1702へ、電話又はハガキでお申し込みください。

京都市大徳寺を模したといわれる七堂伽藍を始め、その周辺には、氏綱の菩提所春松院・氏綱室の養珠院・氏康の大聖寺・氏政室の黄梅院など、数多くの諸塔頭を擁した北条氏一門の菩提所としてその偉容を誇っていた。秀吉軍が近付くと、早雲寺の僧徒たちは、小田原城へ難を逃れた。
秀吉在陣中の早雲寺で、一つの悲劇が起こった。第一回に述べた千利休の弟子山上宗

正親町天皇より真如広照禪師の禪師号を賜られた。

また、翌三年三月二十二日、明叟が南宗寺に在任中の時期は、秀吉による天下統一の

動きが急速に高まりつつある時であった。堺にあって明叟は、激しい勢いで展開していく時の流れ、天下人秀吉の実力を充分に見聞したに違いない。

堺から小田原へ帰った明叟は、氏政・氏直(秀吉との和平を説き「城の危なきこと累卵の如し、公、若し能く心を改め、逆を捨て順を取らば、坐して相豆の封を受けん」(広徳寺誌)と諫めたという。しかし明叟の諫言は容れられず、秀吉はついに小田原攻めを開始した。兵火を避け、弟子たちと小田原城に入った明叟は、形勢が悪化するなかで北条軍が動揺する様子を見て「大檀那の滅却を睥睨してにげ、移去も由なし」と歎息せられけるが、竟に飲水を留め断食して四月十五日遷化したという(関八州古戦録)。この時、大衆に示した遺偈が残されている。



箱根町湯本にある早雲寺 訪れる人が後を断たない

おしらせ・おしらせ・おしらせ・お

古文書講座で市史を読もう
『小田原市史』は、今年3月「史料編近世II藩領1」から刊行作業を開始しました。文化室では、みなさんに郷土の歴史に親しんでいただくために、このほか雑誌「おだわら」歴史と文化の発行や歴史講演会、古文書講座を開催しています。
今回、3回目を迎えた古文書講座は「小田原市史を読む会」として、小田原市史を詳しく読んでいただきます。
◆定員 50人(先着順)
◆受講料 無料
◆申込み及び問い合わせ 9月30日までに文化室市史編さん係(☎250)小田原市萩窪300 ☎1702へ、電話又はハガキでお申し込みください。

感謝等の巡回相談を開催
◆定員 各日50人
◆受講料 無料
◆申込方法 各講座の前日までに社会教育課成人教育係(☎1711)へ電話又は直接申込みを。定員になり次第締め切ります。
飼い猫にはマナーと愛情を
猫は家族の仲間です。猫を飼うときは近所に迷惑を掛けないように、愛情をもって飼いましょ。
最近、猫がゴミを散らかしたり、花壇を壊したりなどの苦情が増えています。餌を十分に与えたり、清潔に保つなどマナーをもってかわいがりましょ。
また、安易に猫を捨てる人がいますが、それはみんなに迷惑を掛けることになり、飼えなくなったら、保健所または市内の定点引取場所に持ってきてください。
◆問い合わせ 生活環境課 ☎1486

ちびっ子は



ちびっ子 レポーターです



●レポーター
下府中小学校六年
大森健介くん
村田麻梨子さん

●説明者
商工課 近藤課長

私たちが毎日買物をするお店、そして工業についてお話を伺おうと商工課に行きました。

☆ ☆ ☆
大森 商工課では、どんな仕事をしているんですか。

課長 一言で言うと、小田原の商業と工業を盛んにするための仕事をしているんです。

村田 商業についてなんですが、小田原にはどのくらいのお店があるんですか。

課長 みなさんが買物をするお店が、大きな店二十八店を含めて二千六百七十九店、食べ物屋さん七百五十七店あります。それと、お店が品物を仕入れる卸売のお店が約六百店あります。

大森 市役所では、商業を盛んにするために、どんな仕事をしているんですか。

課長 商売をするのに必要なお金を貸してあげたり、商店街が街路灯などを造るときに費用の一部を負担してあげ

ます。それから、商売について相談になる仕事です。

村田 工業についてなんですけれど、小田原にある工場では、どんなものを作っているんですか。

課長 昔からある工場では、木製品やかまぼこ、ひもの、梅干しなど、伝統的なものを



楽しみながら勉強するのがいちばん

大森 これからはどういう予定なんですか。

課長 煙や大きな音も出さないで、従業員が多い工場を呼びたいと考えているんです。

村田 昔からの工業は今でも盛んなんですか。作る人はたくさんいるんですか。

課長 少なくなっているんです。伝統的なものは、技術を習うのに時間がかかるんです。伝統工芸を大切にしていきたいですね。

村田 では、市役所では工業を盛んにするためには、どんな仕事をしているんですか。

課長 商業と同じように、お金を貸してあげる仕事、木製品などをたくさんの人に知ってもらうための見本市の仕事、それからいろんな相談にのる仕事、公害を出さない良い工場に来てもらうための仕事をしています。

村田・大森 今日はどうもありがとうございました。たいへん勉強になりました。

わたしの提案

公民館の陶芸用窯の整備を



焼き上がり窯から取り出す瞬間が楽しみ

■中央公民館の陶芸用窯の整備について

(鴨宮 石原さん外)
中央公民館の陶芸用の窯をよく利用していますが、最近窯の調子が悪く、焼き物の色がよく出ません。

陶芸は窯の温度により命を持ち、美しく仕上げるものです。そこで、提案ですが、①管理を平常から怠らず、良い状態にするよう願います。②調子が悪いならば買い換えるよう予算を計上してください。

耐用年数などあるでしょうが、使えないものでは役に立ちません。成人の社会教育の場として

○お答え

中央公民館をご利用いただきまして誠にありがとうございます。陶芸用電気窯のご使用について、利用されている方々にご不便をお掛けしていることをお詫びします。

この電気窯は昭和五十六年三月に購入し、数多くの方にご利用いただいています。そこで、担当は窯の状況及び利用者みなさんの声等の諸事情を勘案し、整備を行っていますが、最近では、性能の低下及び老朽化が進んでいるようです。

今後は、現在の窯の購入先等にも照会して、修理あるいは買い換え等、利用される方のご要望にそえるよう整備したいと考えていますのでご理解

の中央公民館の整備の充実に力を入れてください。

わたしの提案を

お寄せください
提案用のはがき(切手不要)は昨年十一月に自治会を通じて各家庭にお配りしましたが、市役所二階総合案内、支所・連絡所、郵便局にも備えてありますので、ご利用ください。

ご提案に対しては、全て回答したいと考えていますが、無記名の場合や、内容が個人に対するひょう、中傷の場合にはお答えのできないこととなりますのでご了承ください。

ご提案を広報に掲載する場合は、内容を確認させていただきます。氏名とともに電話番号も記入してください。

お問い合わせ 広報課広聴係
☎1263

おしらせ・おしらせ・おしらせ

水道の修理は 公認業者に

家庭の蛇口故障や水道管破裂などの修理は公認業者に申し込んでください。公認業者でなければ修理できません。公道内の水道管は市が修理します。



蛇口パッキングの取替えは自分でできます。公認業者か水道材料店でパッキングを買い、メーターボックス内の止水栓をとめてから修理してください。

桶地区は原管水道ですので、詳細は県企業庁水道局二宮営業所(☎046378111)にお問い合わせください。

◆問い合わせ 小田原市管工事協同組合 ☎11002
工務課維持係 ☎1166
7(夜間)☎2554

市民対象の公演

マイフェア・レディ
市民会館では等7回市民対象公演を開催します。

◆日時 11月4日(土) 午後3時開演
◆会場 市民会館大ホール
◆対象 小田原市に住居登録している方

◆試験 11月12日(日)
◆受付 9月25日～10月13日
◆申し込み及び問い合わせ 商工会議所 ☎1811

◆日程・内容・講師
○9月20日(水)「人材確保と時間短縮」企業経研代表幹事・田川義雄さん
○9月22日(金)「労働時間弾力化をめぐる労使関係」慶応大学教授・宮本安美さん

地域懇談会

議論の成果を 研究の基礎資料に

市では、生涯学習研究委員会と婦人問題研究委員会が進めている研究の基礎資料とするために地域懇談会を開催し、生涯学習と婦人問題についてみなさんから



活発な発言がありました

ご意見を伺いました。懇談会は七月十三日から二十五日までの日程で市内の八つの会場で開催し、延べ四百五十人のみなさんに参加していただき、有意義な懇談会とすることができました。



この懇談会で出された生涯学習の内容や施設、婦人の社会参加や老人介護の問題についての貴重なご意見は、今後の両委員会の研究の基礎資料として活用させていただきます。

◆問い合わせ 社会教育課 ☎1712



格ミュージカル「マイフェア・レディ」です。みなさん是非鑑賞ください。

◆入場券 市民会館2階事務室で発売中
◆入場料 1000円(全席自由席)
◆定員 先着1000人
◆問い合わせ 市民会館 ☎7146

◆市融資制度のご利用を
市内の中小企業を対象に融資を行っていますのでご利用ください。

◆労働講座を開催
時間短縮に向けて
◆対象・定員 労使一般40人
◆会場・申込み 小田原労働センター ☎3557

◆国県市町が合同で 総合相談会を開催
国や県、市の行政への要望や意見などの相談や弁護士による法律相談、専門委員による

◆国県市町が合同で 総合相談会を開催
国や県、市の行政への要望や意見などの相談や弁護士による法律相談、専門委員による